

2007年12月8日(土) 13:00-17:00

新橋アネックスビル

出席者：田島節子、前田京剛、家康弘、有光直子、肥山詠美子、米永一郎、森初果、中島美帆

欠席者：池内了、松尾由賀利、平田光司、野崎光明

・前回議事録確認（資料1）

I. 報告事項

- (1) 女子中高生啓発サブグループより、女子高生夏の学校の実施報告があった。（資料2）
8/16-18 に国立女性教育会館で開催された。
 - ・十数の学会からスタッフが参加し、盛況であった。
 - ・液晶ストラップなど、お土産付きのものが好評。
 - ・高校の先生も熱心に参加されていた。
 - ・女性会館の事務の方が非常に助かった。
 - ・来年はもっと手伝いが欲しい。

- (2) サブグループ広報より下記の報告があった。
 - ・39期一年間で4回男女共同参画便りを掲載（No.4→資料2）。
来年もこのペースで行きたい。
 - ・来年の掲載内容をどうするか
 - 各大学の女性研究者支援進行調整費のプログラムの報告？
関係者がいるところに原稿依頼。表、写真、絵をなるべく。
 - 一回に2-3大学を掲載する方がよいか？
(1大学を1記事にすると失敗点を書きにくい。)

- (3) 国立青少年教育振興機構と国立女性教育会館の統合案についてのパブリックコメントについて（資料4）
田島委員長より、上記に関するパブリックコメントを物理学会から出すことになった経緯の説明があった。その後、このパブリックコメントを基にした意見書を、別途文部科学大臣、首相、内閣府特命担当大臣、行政減量化・効率化有識者会議座長等の計5箇所に fax にて送付したとの報告があった。

- (4) 男女共同参画学協会連絡会シンポジウムについて（10/5）
田島委員長より、10月5日の学協会連絡会シンポジウムの報告がされた。主なテーマは地域連携、affirmative action(差別是正措置) など。

- (5) 学協会連絡会運営委員会について下記の報告があった。（資料3）
 - ・今年度から会費を納入することになった。
 - ・大規模アンケートの結果は、データファイルを次回の運営委員会時にCDでもらうこととした。

II. 審議事項

(1) サブグループの担当割り当てについて

以下のように決定された。(敬称略、順不同)

- ・学協会連絡会 ・・・前田、有光
- ・広報 ・・・森、家、中島
- ・数学会との共同委員会 ・・・米永
- ・アンケート分析 ・・・平田
- ・女子中高生啓発 ・・・有光、松尾、前田
- ・学協会連絡会シンポジウム ・・・肥山、田島、池内、野崎

(2) 春の物理学会での数学会とのミーティングについて

今年の春の物理学会は一部日本数学会との合同なので、数学会とミーティングをもつこととなった。

日程は、3/23を希望とし、後日調整する。

(3) 学協会連絡会の実施する大規模アンケート集計結果について

前回の結果の報告書が出ていないので、出す必要がある。

(4) 今後の活動について

- ・次回ソウルで開催される IUPAP WG 「Woman in Physics」の国際会議(10/8,9,10)

開催地が近いことから、できるだけ多くの参加を求められている。

→できるだけ多くの委員で参加する。(物理学会からは2名分の旅費が認められている。)

- ・今後の活動内容、活動の方針などについて、各委員から意見が出された。

女性研究者が少ない理由を突き詰めると、周囲(高校の先生や親)の理解が得られないことが大きな原因の一つになっているとの結論に達した。それを改善するには、まず高校の先生への啓発活動が必要である。例えば、物理学会年会の際に高校の先生を招待して物理に親しんでもらうと同時に、女子高校生が物理へ進学するのを励ましてもらえるよう、話をする事、などが考えられる。(物理教育委員会との連携が必要。)

(5) 次回の委員会開催について

4月上旬に開催する(後日調整)。